



華・花

関口 孝子



メルヘン

関口 孝子



メルヘンティーブルセンター

関口 幸子



雲崗石窟

軸

田口



ほたん

軸表装共

田口 信子



はじめてのレッスン

田口 信子



ギャルソン

7

富田 了芳子



カーディガン

富田 了芳子



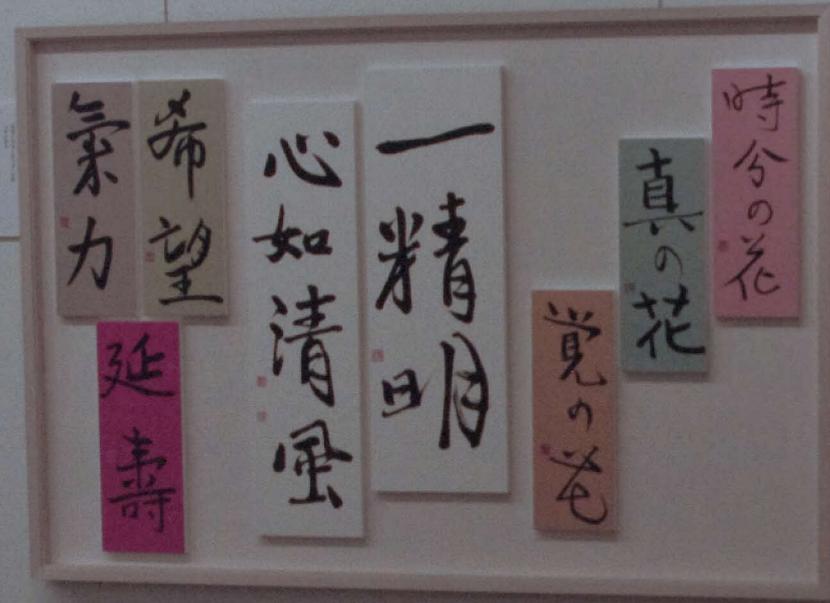
EX 104

EX 104



藍染
綾子
小物 27

藍染
綾子
小物 27



“希望と元気と安らぎ”の絵
十年の歩み

私が絵を描き始めたのは、十年前の六十八歳の時、病いの克服と孫たちの誕生がきっかけでした。

一年間の闘病生活を経て、病いの痕跡が消えた時、私は、新たに命をあたえられたことに感謝するとともに、“生きる喜びと命の尊さ”を思い知らされました。

私は、この想いを表現したいという気持ち湧いてきて、絵を描くことを始めました。折々の心に映る情景を描き続けて十年、振り返ってみると、孫たちの成長も織り込みながら、“希望と元気と安らぎ”の絵を描いてきたように思います。

当美術作品展が十周年を迎えるにあたり、第一回目から出展してきた作品をコンパクトにまとめて展示させて頂きました。

平成三十年十一月

芳賀 隆一

希望と元気と安らぎの絵

10年の歩み

芳賀 隆一



よろこび
 素晴らしい、
 生命はじける
 この世界
 よろこびあふれ
 みんな仲良く



はばたき
 空を飛ば
 鳥のように
 大空を
 翼はためかせ
 自由に生きる



希望
 朝日さし
 湖畔の生命
 鮮やかに
 希望にあふれる
 今日が始まる



順風満帆
 月光の
 静かな海面を
 行く小舟
 順風満帆
 風をはらんで



門出
 七五三
 四神に護られ
 健やかに
 幸多かれと
 門出を祝う



明日に向かって
 雄大な心
 飛空のもと
 躍る
 大地踏みしめ
 明日を日進して



旅路はるか
 大自然の
 熱理の中に
 我はあり
 希望求めて
 旅路はるか



夜明け
 東が明ける
 暁にみつけた
 新天地
 思いの限り
 未来にはばたく



ここに幸あり
 君たちは
 ひとあし先に
 進ったけど
 きっと念おうね
 花咲く國で



家路
 夕焼けだ
 お寺の鐘が
 鳴っている
 ママが待ってる
 お家へ帰ろう



春うらら
 振吹き
 生きる喜びに
 感謝する
 新たな息吹に
 力をもらう



祈り
 幼き子の
 はらかな願い
 叶うよう
 天に届けと
 みんなで祈る



森の舞姫
 遊びやかに
 表の仲間と
 舞う乙女
 湿野の世界に
 喜びあふれ



森の妖精
 美しげに
 子鹿と踊る
 幼な子は
 幸せ運ぶ
 森の妖精



南国のゴルフ
 南国の
 生命あふれる
 楽園で
 孫とのゴルフ
 叶えば嬉し



春宵
 春の花に
 少月かたりて
 灯がともり
 釣り人長々と
 夕顔を飾り



初春
 初春に
 心新たに
 飛翔を祈し
 無事成就で
 時は進んで行く



鎮魂と平和
 東京大空襲
 三千の御霊が
 宿りし市川橋で
 祈りを捧げ
 平和を願う



龍騎観音



ヨソソ
 君たちが
 運んだ道を
 一歩に進め
 虹の彼方の
 夢をまごし



鎮魂と平和

東京大空襲
三千の命愛が
宿りし菊川橋で
祈りを捧げ
平和を願う

鎮魂と平和

1975年

鎮魂と平和

東京大空襲

三千の御霊みたまが

宿りし菊川橋で

祈りを捧げ

平和を願う

鎮魂と平和

芳賀 隆一

時分の花

真の花

寛の花

一
精
日

心
如
清
風

希
望

氣
力

延
壽

じぶん まこと
時分の花 真の花

出典：「風姿花伝」 世阿弥

時分の花

若い頃の花は、若やいで、華やかで、人目を引くが、一過性のもので、やがて消え行くもので、本質的な花ではない。

真の花

長い年月、風雪に耐え抜いた古木の一枝に咲く花のように、長年の経験と研鑽により培われたその人からにじみ出る味わい。こういう人が咲かせる花こそ、本質的な花である。

かく
覚の花

覚とは仏陀のことを意味します。

いっしょうみょう
一精明

出典：「臨濟録」

中心になるのは一つ、心です。

私達が外界を認識する手段は、目、耳、鼻、舌、身体の五つの器官(五根)と意識(一根)を加えた六根が一つとなって外界と接しています。

禅の世界では、それをさらに束ねるものとして心の本体をイメージし、「一精明」と名づけています。

黄檗和尚は、この「一精明」を「一心」とであると定義しています。つまり、物事の道理を知るということは、六根を研ぎ澄ませて一つにまとめなければならないということです。

道標